

町政に関する

一般質問の主題

増田 秀雄

- 松伏町における防犯活動
- ギガスクールの進捗状況
- 中学校における部活動（文化部、運動部）の民間委託

村上 真由美

- 生涯にわたる文化・スポーツ活動への支援充実
- ファミリーシップ登録制度などの導入と災害時の性的マイノリティに対する支援計画

川上 カ

- 成年後見制度を紹介するエンディングノートの作成と講座の開催
- 自治会に対する公共施設の減免措置拡大
- 小中学生にWi-Fiルーターの無償貸し出し事業と通信料の補助

砂川 清時

- 新型コロナウイルス感染症抗原検査キットの無料配布
- オミクロン株対応ワクチンの接種体制

福井 和義

- 人生100年時代の介護

田口 義博

- 教育行政
- 令和4年度全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)

高野 祐大

- スマホですべての行政手続きを60秒以内に
- 県の公共交通の利便性向上検討会議で指摘された、地下鉄8号線の新駅周辺のまちづくり

平野 千穂

- 高齢化がすすむなかでの地域共生と公共交通政策の充実
- 外国籍の児童生徒に対する日本語学習のサポートを
- 障がいを持つ子どもたちへの支援・教育体制の充実を

吉田 俊一

- 大雨に備えた水害対策強化（大落古利根川の土砂しゅんせつ、八間堀悪水路の整備）
- 町民へのアンケート実施状況、集計や分析の進捗
- 松伏町国民健康保険税の子どもの均等割の減額を拡大し、無料化をめざせ

9人の議員が町政を問う



ますだ ひでお 増田 秀雄（未来クラブ）

Q 松伏町における防犯活動について

A 地域の防犯意識の高揚に努める

問 町で行っている防犯対策について。

答 総務課長 防犯灯の設置や公共施設の防犯カメラ等の施設整備も重要であるが、地域における防犯意識の高揚が非常に大切だと考えている。また、下校時間に児童の声で録音した防災行政無線を放送し、各地域の皆様には生徒の見守りを意識して頂く取組みも実施している。今後の防犯対策は、引き続き吉川警察署、吉川地区防犯協会や自主防犯活動を実施している地域の方々などと連携、協力を深め犯罪の発生抑止に努めていく。情報発信は、防災行政無線のほかホームページやマップメール、ツイッターがある。

問 ギガスクールの進捗状況について。

答 教育総務課長 松伏町の各小中学校においては、積極的にタブレット端末を活用しており、校内通信ネットワークの整備を進めています。また子供たちをだれ一人取り残すことのない個別最適化された学びを推進していくため、教職員のICT活

用指導力の向上のための研修会を実施してまいります。また、授業においても、情報活用能力の育成や、情報モラル教育の充実を図り、適応指導教室やさわやか相談室に通う子供たち、不登校の子供たちが学校や教師とよりつながりがもてるよう、ICTの活用を進めていく。



松伏記念公園テニスコートに設置された防犯カメラ



むらかみ まゆみ
村上 真由美 (公明党)

Q LGBTQ図書コーナー設置を

A 特集展示コーナーとして検討する

問 パートナーシップ認証制度について、当事者は1日も早い導入を待ち望んでいる。工程表をつくり見通しを明確に示せないのか伺う。

答 **町長** その人らしく生きられる社会づくりのため、早い時期に制度構築をしていきたい。

問 パートナーシップ制度の導入とともに、教育・啓発活動が大事だ。公民館や学校図書館にLGBTQコーナーを設けるなど出来ないか。

答 **教育文化振興課長** 特集展示コーナーとして、季節や時期を調整して設置することを検討する。

問 災害時の性的マイノリティに対する支援計画を作ることも、当事者団体の要望のひとつだ。防災計画に反映するようにしてはどうか。

答 **総務課長** 地域防災計画への反映等も含め、調査、研究していきたい。

問 近年では全国大会や関東大会などに出場をして

いる団体もある。全国大会などに出場した文化・スポーツ団体への旅費の支援などを行ってはどうか。

答 **教育文化振興課長** 現在、町では、全国大会や関東大会等の出場に対する支援制度はない。

町長 県大会から関東大会、そして全国大会のバランスなど近隣の市町村を調べた上で、町民の方を励ませるような補助金等をつくってほしいと思っている。



男性、女性、オス、メス、異性愛、同性愛
トランスジェンダーなど様々な性別を表したマーク



かわかみ つとむ
川上 力 (公明党)

Q エンディングノート作成と講座を

A ノートの効果は高い作成検討する

問 成年後見制度の窓口にもなっている地域包括支援センターの相談体制の強化を。

答 **いきいき福祉課長** 成年後見制度の相談件数は増加傾向にある。相談体制の強化として、第9期介護保険事業計画で地域包括支援センターを増設する考えであり、令和6年度以降は2か所の地域包括支援センターで機能的な相談体制を構築できる。

問 終活を手助けするエンディングノートを作成し成年後見制度の紹介や関係する講座の開催を。

答 **いきいき福祉課長** 町としてもエンディングノートがもたらす効果は高いと感じている。今後エンディングノートの作成を検討するとともに、介護予防事業と並行してエンディングノートの記入方法の講座を開催するなどその普及に努めていきたい。

問 自治会活動における公共施設の減免措置拡大を。

答 **教育文化振興課長** 減額・免除の可否は町の判断だが、他市町の状況等を踏まえ調査研究していく。

問 家庭にWi-Fi環境のない小中学生の学習機会の拡充・確保に、Wi-Fiルーターの無償貸し出し事業と通信料の補助を。

答 **町長** 現段階では各家庭にWi-Fi環境が必要な段階ではないと認識しているが、子供たちに学習機会の差が生じてはならないとも認識している。関係課に調査研究を指示している。





すながわ きよとき
砂川 清時 (自民クラブ)

Q オミクロン株ワクチン接種体制は

A 個別接種や集団接種で対応する

問 オミクロン株対応ワクチン接種体制について現時点での町の状況と、考え方は。

答 **すこやか子育て課長** 接種対象者は、初回接種（1回目及び2回目接種）を完了した者。対象人数は約1万8,000人と想定、個別接種や中央公民館での集団接種を実施できるように準備。

問 オミクロン対応ワクチンはどのようなものか。

答 **すこやか子育て課長** オミクロン株（BA.1型）と従来株に対応した2価ワクチンで、ファイザー社とモデルナ社。現在主流のBA.5型にも効果が期待できると国の説明があった。

問 新型コロナウイルス感染症抗原検査キットの無料配布にあたっての趣旨は。

答 **すこやか子育て課長** 7月からのオミクロン株による感染患者の急激な増加に伴い、医療機関がひっ迫する恐れがあった。そこで、無料配布キットにより、自己検査を行い、陽性でも症状が軽い

場合は、医療機関を受診することなく確定診断を行える体制を整えた。

問 町内における無症状の方に対するPCR検査、抗原検査の無料化事業について。

答 **すこやか子育て課長** 県内の薬局・ドラッグストアで無料で検査を受けられる。町内でも1店舗あり、県のホームページに掲載されている。



出典：NHK首都圏ナビより（一部改変）



ふくい かずよし
福井 和義 (チェンジ松伏・無所属クラブ)

Q 人生100年時代の介護

A 就労を含む社会参加が必要である

問 総務省は、令和3年9月20日敬老の日に合わせて、65歳以上の高齢者の推計人口は3,640万人と発表した。

また、松伏町の人口は、令和4年6月1日現在、2万8,451人で毎年約300人減少していて、少子・高齢化が進んでいる。

そして、高齢者が増加し、介護士、介護施設の不足が予測される。

これらの問題を解決するには、①介護士の確保、②介護施設の増設、③地域包括ケアシステムの充実、④介護サービスの充実、⑤介護予防の充実が必要である。

(1)、町は、人生100年時代の介護について、どのように認識しているか。

答 **いきいき福祉課長** 厚生労働省によると、2040年を展望した社会保障働き方改革では、日常生活を制限されることなく過ごせる期間を健康寿命と呼んでいる。

この健康寿命を2016年に比べて3年延ばし、2040年までに男性の健康寿命を75.14歳、女性の健康寿命を77.79歳を目指すとしている。さらなる健康寿命の延伸を図るためには、元気な高齢者が、就労を含む社会参加、介護、認知症予防など、要介護者の減少を促す取組が必要であると認識している。



松伏町地域包括支援センター



たぐち よしひろ
田口 義博 (自民クラブ)

Q 全国学力テスト結果の公表を

A 分析結果など公表していく

問 令和4年度に実施された「全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)」の結果から見えた特徴は。

答 教育総務課長 松伏町の令和4年度の平均正答率は、全教科において全国平均値を上回ることができなかった。小学校では算数と理科、中学校では全教科で全国平均値との差を縮めることができたが、小学校は国語、中学校では数学に課題がある。

問 各教科に見られた特徴・課題を、町教育委員会は各小中学校に対し、どのように指導していくのか。

答 教育総務課長 校長会や校内研修での指導で周知する。指導改善のポイントを生かした授業改善は、町学力向上推進委員会等で具体策を研究していく。

問 秋田県能代市は、毎年優秀な成績を上げている。「全国学力・学習状況調査」の分析結果を公表している。松伏町でも公表すべきであると思うが、町の考えは。

答 教育総務課長 今までもホームページ上において分析結果については公表している。公表することは保護者や地域の方々にも学力向上に対する関心を高める。今年度から分析結果と指導のポイントを明記する。

問 教員の時間外勤務の実態はどの様に。

答 教育総務課長 年間360時間超の教職員の割合は令和2年度57.1%、令和3年度75.2%。

令和4年度 全国学力・学習状況調査結果概要(松伏町)
教科に関する調査結果 (単位: %)

調査科目	小学校			中学校		
	松伏町	埼玉県	全国	松伏町	埼玉県	全国
国語	61(62)	67	65.6	68(60)	70	69.0
算数	63(66)	64	63.2	48(52)	52	51.4
理科	63(54)	65	63.3	46(62)	49	49.3

※ () 内の数値は、令和3年度の調査結果。中学校理科は、平成30年度。



たかの まさひろ
高野 祐大 (チェンジ松伏・無所属クラブ)

Q すべての行政手続を60秒以内に

A より簡単に便利な行政手続が推進

問 スマホですべての行政手続を60秒以内を成し遂げるために必要な、Gov-Cloud移行後に考えられる、町民サービスの向上については。

答 企画財政課長 町民にとっては場所や時間に制限なく、スマートフォンあるいはタブレットからでも手続が行えるようになる。役場に来庁される移動時間、待ち時間が削減ができ、より簡単に便利な行政手続が推進されるものとなる。

問 その準備として、自治体が取り組んでいかなければならない。Gov-Cloud移行に向けた町の取組は。

答 企画財政課長 令和7年度末までに移行できるよう調査、比較分析、移行計画の策定を進めているところ。関連して、令和5年度から子育て支援、介護関係等の手続がオンライン申請できるよう、申請フォームの作成、動作検証、例規整備などに、順次、取り組んでいく予定である。

問 町がGov-Cloud上のアプリケーションに移行を

想定している業務は何か。

答 企画財政課長 地方公共団体情報システムの情報化に関する法律に定められた、子育て、税、障がい福祉、介護、国民健康保険関係などの事務が対象となっている。松伏町の場合、県の事務、具体的には児童福祉手当、生活保護等除く18事務が該当するものと想定をしている。



出典：デジタル庁「日本のデジタル度2021」



ひらの ちほ
平野 千穂 (日本共産党)

Q タクシー券事業の対象拡大を

A 妊婦へのタクシー割引を検討する

問 『高齢者タクシー券事業』に、妊婦や65歳から74歳でも運転免許証を取得していない、又は免許返納した方も対象とできないか。

答 **いきいき福祉課課長** 免許取得していない、又は運転経歴証明書がない方は、把握する事が困難。

問 埼玉県内では、越生町、皆野町、嵐山町、神川町などが運転免許証を所有していない事を条件に年齢を引き下げているため、導入検討はできるのでは。妊婦を対象とした場合、町内の年間出生数は過去3年平均115人のため約38万円で実施できる。

答 **町長** かねがね各議員から循環バスの要望がある。10月下旬に幸手市に視察に行き、杉戸町と幸手市の動向を調査・研究していきたい。妊婦については、町中に出産できる病院がないため、タクシーの割引があれば都合がいい。検討していく。

問 『買い物支援サービス事業』は、地域での意向調査、アンケート調査は行ったのか。地域の方々か

らは、「なぜ集合場所は築比地上なのか、下のほうが利用希望が多いのではないか。」「行き先に、スーパーだけでなく役場等々も加えてほしい。」など、いろいろな意見があるようだ。

答 **町長** 町でアンケート等は取らなかったが、2か所の集合場所でスタートし、10月から3か所に増やす。他の所でも、ニーズがあれば拡大するという気持ちがたくさんある。



「買い物移動支援サービス モデル事業」
松伏町社会福祉協議会ホームページより



よしだ しゅんいち
吉田 俊一 (日本共産党)

Q 大雨に備えた対策、国県へ要請を

A 河川整備促進の要望を提出した

問 町内の主要な排水路の流末は大落古利根川に接続している。堆積している土砂をしゅんせつし河川断面積を確保することは、内水氾濫を未然に防ぐ上で重要だ。これまで、寿橋下流、古利根堰周辺のしゅんせつが実施されたものの、その後の計画がされていない。

答 **まちづくり整備課長** 大落古利根川に限定したものではないが、埼玉県町村会を通し、「埼玉県河川の整備促進について要望」を提出。その中で、河川増水時の流下能力を向上させるよう要望をしている。

問 7月13日夕方、寿橋下流しゅんせつがされていない、堤防が低い場所の写真。12日から13日にかけて埼玉県西部は記録を上回る大雨、町内も瞬間的に激しい雨が。今後、大変心配があると考えている。河川整備を計画的に実施するよう河川を指定し働きかけていただきたい。

答 **まちづくり整備課長** 寿橋下流部の左岸の一部で

堤防高が不足し、重要水防箇所となっている。毎年出水期前には、埼玉県と町で合同に現地を立ち会い、重要水防箇所の確認や、水防工法の確認等を行っている。重要水防箇所を解消することが大前提だが、河川のしゅんせつ等についても働きかけていきたい。



古利根川 寿橋下流 2022年7月13日